

東京・川崎 連絡管について

1. 目的

震災時や大規模水源水質事故時等の非常時に、水を相互に融通することによって、給水安定性の向上を図る。

(訓練概要図)

2. 施設概要

名称	東京・川崎 登戸連絡管
口径・延長	800mm×約40m
場所	神奈川県川崎市多摩区登戸1097番地先
融通水量	日量10万m ³ (上水) 約30万人規模
連絡施設	東京都：長沢線(1,600mm) 川崎市：6号配水本管(1,200mm)

名称	東京・川崎 町田連絡管
口径・延長	400mm×約50m
場所	東京都町田市能ヶ谷町付近
融通水量	日量1.5万m ³ (上水) 約5万人規模
連絡施設	東京都：聖ヶ丘系配水管(500mm) 川崎市：岡上配水管(400mm)

基本協定	平成15年12月22日締結 (平成17年2月24日 旧協定廃止、新協定締結)
建設協定	平成17年5月18日締結
管理運用協定	平成19年3月19日締結 (平成20,22,24年変更)
運用マニュアル	平成19年3月19日締結 (平成20,21,22,23,24,25年,令和4年変更)

3. 運用訓練について

管理運用協定により策定した運用マニュアルに基づき、訓練を実施

○訓練目的

- ・両局間の連絡調整及び連絡管の運用方法の確認
- ・本弁等各種施設の機能性の確認

○訓練内容

- ・通信訓練：電話(一部衛星電話含む)、FAXによる依頼及び回答の事務連絡
- ・運用操作訓練：洗管排水等の融通準備作業、関連弁機能調査

